

草原しんぶん

第2号 / 平成18年3月発行

環境省九州地方環境事務所・阿蘇自然環境事務所

阿蘇草原再生ホームページ <http://www.aso-sougen.com>

「草原しんぶん」は、阿蘇の草原のことをみなさんに知ってもらうために発行しました。阿蘇の草原ではどんなことが行われているのか、どんな問題が起きているのか、考えてみましょう。そして、学校やお家の方と話し合ってみましょう。



阿蘇の草原と野焼き(のやき)



「うわ～、大変だ！草原が火事だよ！」



「ほっほっほっ。違うんだ。わざと草を焼いているんだ。これは、阿蘇の草原で、毎年3月に行われる、『野焼き』という作業だよ。」



「どうして草原を焼いてしまうの？草原を焼いてしまったら、草がなくなってしまうんじゃないの？」



「なくならないんだよ。古い草を焼くと、お日様の光がよく当たって、元気な草がまた生えてくるんだ。」



「なるほど、だから春になると草原が緑になるんだね。でも、こんなに広い草原を焼くのは、大変じゃない？いったい誰が焼いているの？」



「集落の人が、みんなで焼いているんだ。でも、けが人や死人が出ることもある、危険な作業なんだ。」



「そんなに危険な作業なのに、どうして続けているの？」



「野焼きをしないと、牛が大好きな草がなくなるし、きれいな草花もなくなってしまふんだ。なによりこの広い草原は、先祖代々守ってきた宝物。だから、集落の人がみんなで、火事にならないように、いろんな工夫をして、野焼きを続けているんだ。」



「なるほど、だから毎年続けられるんだね。さっそく、安全に野焼きをするための工夫を聞いてみることにするよ。」

野焼きの道具

野焼きには、火をつけるためのたいまつのほか、火を消すために使う「火消しぼう」や、水をためるふくろにホースのようなものがついた「ジェットシューター」などを用意します。

ジェットシューターを背負う作業員



草原クイズ

ゴウゴウと燃える野焼きの炎はほんとにすごいね！
でも、勢いよく燃えてると、近くの木や建物に火が燃え移る危険があるんだ。そこで、火がまわりの木や建物に燃え移らないように、ある工夫がされているんだって。さて、それはどんなことだろう？



こたえはこのページのいちばん下にあるよ！



みんなのしつもんにくさ子が答えるモ～!!

みんな、たくさんハガキを送ってくれてありがモ～。みんなが送ってくれたしつものなかから、2つのしつものに、くさ子が答えるモ～。

しつもん：草原にいる牛は、夜はどうしてるの？
くさ子：あたりが暗くなってくると、ねむくなるモ～。だから、草原の草の中で、手足をたたんでねむるモ～。

しつもん：なぜ牛の背中に数字が書いてあるの？
くさ子：かい主が遠くから見て、見分けられるように、番号が書かれているモ～。ケガをしても、番号ですぐにわかるモ～。番号のほかにも、「みちこ」など名前が書かれているともだちもいるモ～。

わかったかな？ まだまだしつもんを待ってるから、どしどし送ってモ～。

子ども向けのホームページができたよ!!



阿蘇の草原はかせを目指しているきみ！ クイズが大好きなきみ！ いますぐホームページにアクセス！
ホームページアドレスは・・・
<http://www.aso-sougen.com/kids/>



クイズやしつもんコーナーなど内容もりたくさん!!



けいたい携帯電話から、くさ子にしつもんができるよ。右のバーコードを読みとるか、下のホームページにアクセスしてね。
<http://www.aso-sougen.com/kids/question/postmail.html>

・しつもんを送ってくれた人の中から抽選でプレゼントが当たります！

草原クイズのこたえ：野焼きの火がまわりに燃え移らないように、草原と林や家の間の草を刈り、「輪地（わち）」とよばれる防火帯を作ります。夏の暑い日に、6～10メートルの幅で草を刈る「輪地切り」はとても大変な作業です。秋から冬にかけて、草原と林との間や道はたに、帯のように見えるのが輪地です。